

図画工作科学習指導案

5年2組 城野 知佐

1. 題材名 「夢見る∞ (無限大) ワールド」

研究主題 造形活動を通して育む未来そうぞうの資質・能力

2. 題材設定の理由

(1) 題材について

子どもたちが、登下校中に色々なものを拾ってはポケットに入れて家や学校に持ち帰ったり、自分の持ち物の潜在能力を發揮させようと鉛筆削りのふたをあらぬ方向に曲げて壊したりしている姿は、日常的に見ることができる。本題材は、プリンターやコーヒーマーカーなどを分解することを楽しみ、さらに再構築する題材である。子どもたちは、自分たちの持つ好奇心や探究心を働かせながら、面白い形や美しい形を見つけ、そこから表したいことを思い付いていくだろう。

分解することで、物理的に今までとは違う一面を見ることができ、自分の感覚や行為を通して、自分の表したいイメージを持つ姿が期待できる。また、新たな材料の並べ方やバランスなどを組み替えたり、友だちと話したりする中で、「今ここ」にあるものことひとに新たな意味や価値を見出すという、「そうぞう」する姿も期待できると考えた。

本題材は、「意味のなくなったものから新たな意味を見つける」活動に焦点を当てている。指導の工夫として、分解されていくタイムラプス動画などを、子どもと一緒に見る。このことを通して、分解することへの興味、中はどうなっているのかと思う探究心、何が出てくるかという好奇心を持ちやすいと考えた。

また、そこから、新たな自分の好きなものを見つける場面では、他の友だちがどんなものを見つけているかわかるように、グループで見合えるようにした。また、変化の様子が見て取れるように、班ごとにタイムラプス動画を撮るようにした。ドライバーやレンチなど今まで使ったことのない用具を使うことは、次からの別の活動に広がりをもたらす。また、既存のいわゆる材料だけを材料としてみるのではなく、身の回りにある様々なものが材料であると感じられるようになると考える。

(2) 本題材における図画工作科の目標及び評価基準

目標：分解することを楽しみながら、自分のイメージを思い付き、
並べ方や組み合わせ方を考え、構成する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 (学びに向かう人間性)
評価基準	分解した材料を組み合わせながら、動きやバランスを捉えている。【知】(ア) 分解して見つけた材料をスペースの中への構成の仕方を工夫している。【技】(イ)	分解しながら、並べ方や組み合わせを思いついている。【発】(ウ) 分解したものや、友だちのいいと思っただけのものを鑑賞し、選択や組み合わせの工夫を感じ取っている。【鑑】(エ)	分解することを楽しもうとしている。 よりよくなるように並べたり組み合わせたりする活動に取り組もうとしている。【態】(オ)

(3) 活動構成の仮説

造形遊び的思考が働く題材を設定することで、どうすれば分解できるか考え続けたり、目の前で起こることや表れるものに意味や価値をつけたりという「創造的実践力」につながる。

子どもたちにとって、一見完成されているように見えるものを分解するという行為は、魅力的で、かつ「いつも見たことのない中はどうなっているのだろう」「どのネジを取ったら、バラバラになっていくのだろう」などと、持ち合わせている「好奇心」や「探究心」を存分に発揮できる題材である。

子どもたちは進んで目の前にある材料に働きかけ、分解するという行為の中で見つけたものやことに意味や価値を見出していく。また、さらにいい感じになるような組み合わせ方を考えたり思いついたりしながら、活動を展開していく。

子どもたちは、今まで材料となると思わなかったようなものや、今までとは違う様子を見せる他者と関わることによって、「今ここ」にあるものやいるひと、起こっていることやそれらからそうぞうされる、目の前にあるものや目の前新たな意味や価値を見いだすことにつながっていくと考える。

(4) 図画工作科の学習と未来そうぞうの繋がり

単元の中で3つの実践力を発揮している姿

- 【主体的実践力】 ・進んで材料と関わっている ・今までの知識を駆使し、用具を使っている
- 【協働的実践力】 ・友だちの行為を見つめている
 - ・話をしたり、見たりして友だちの「いい」を共有している
- 【創造的実践力】 ・どうすれば分解できるかを考え続けている
 - ・分解していること自体や、分解して出てきたものを大切にしている

(5) 準備物

教師：分解できるもの、分解する用具（ドライバー、レンチ、スパナなど）、額縁、額縁をつくる材料、接着するための道具（ホットボンド、カネダイン、木工用ボンドなど）、箱や額縁など、ゴム手袋、安全メガネ、マスク、雑巾補助教材として

- ①『解散』『デザインあ』、
- ②「power of ten」、チャールズ・イームズ、
- ③「zoom」「re-zoom」、イシュトバン・パンニャイ、
- ④『分解してみる』『カガクノミカタ(nhk for school)』など

児童：分解できるもの、ドライバー、額縁など

3 指導計画 全5時間 8日(金) 2/5時間

学習活動と子どもの意識			図画工作科の評価	創造的実践力を高める仕掛け		
図画工作科	未来そうぞう科	他教科		没頭	協力	レジャーエンス
分解することを知り、分解しながら、今まで見たことのないものや知らなかったことを見つけることを楽しむ。 第1次 3時間 *ただし、第一次の2・3時間目と第二次は、子どもの思考によって流動的に行き来する。						
<p>今までは何かつくってきたけど、今日は分解するのカー</p> <p>早く分解してみたい!</p> <p>初めての用具、ドキドキ</p> <p>分解したら、こうなるんじゃないかなあ</p> <p>こんな部品見つかったよ。</p>			<p>・分解したり、そこから自分の考える「いい」を見出したり、よくなるように組み合わせる活動に取り組もうとしている。 【知】(才) (主体的な態度)</p>	<p>あまりしたことのないであろう、してはいけないことが多い「分解する」という行為を活動の中心に設定する。</p>	<p>初めての用具を使ったり、2人以上で支え合って活動できる題材にする。</p>	<p>ネジを外したのに分解されなかった場合、どこを外せばよいか考えながら試し続けるように声をかける。</p>
部品をながめたり並べたり組み合わせたりしながら、分解したものを再現する。 第2次 2時間 *ただし、第一次の2・3時間目と第二次は、子どもの思考によって流動的に行き来する。						
<p>1人じゃ無理そうだな!?</p> <p>誰かに協してもらおう!</p> <p>もっと分解したい!</p> <p>分解したものを並べてみよう。</p> <p>こうやって並べた方が、かっこいいんじゃないゆぬ?</p> <p>こんなのが入ってるなんて不思議!</p>			<p>・使えなくなったものを分解しながら、自分の「いい」イメージをもち、組み合わせを思い描いている。 【知】(才) (思・判・表)</p> <p>・分解した材料を組み合わせながら、動きやバランスを捉えている。 【知】(ア) (知・技)</p> <p>・分解して見つけた材料をスペースの中への構成の仕方を工夫している。 【技】(イ) (知・技)</p>		<p>物に困った時は、相談をするように促す。</p>	<p>不要になったもの(意味のなくなったもの)を分解することで、違う見方ができることに気づき、並べ方や組み合わせ方を工夫できるような場を設定する。</p> <p>意味や価値がなくなり変えられているということを、最後に意識できるように、声をひらう。</p>
友だちの作品を鑑賞し、学びを共有する。 第3次 1時間						
<p>こんなのどこから出てきたの?</p> <p>ゴミからすごいものができた!</p> <p>これ、すごい好きやわー</p>			<p>・分解したものや、友だちの「いい」と思ったものを鑑賞し、選択や組み合わせの工夫を感じ取っている。 【鑑】(ニ) (思・判・表)</p>	<p>違いを楽しみながら、鑑賞できるように声をかける。</p>		<p>自分が思っているいいものと、友だちのそれが違うということ共有できる場面を設ける。</p>